

經 濟 水 道 委 員 会  
説 明 資 料

令和8年3月13日

上 下 水 道 局

# 目 次

## <共 通>

	ページ
1 アセットマネジメントについて.....	1
2 温室効果ガスの排出削減について.....	2
3 事業用定期借地による長期貸付の収入額について.....	3
4 新実技研修施設について.....	4

# 1 アセットマネジメントについて

## (1) 基本的な考え方

長期的な視点に立った改築・更新の考え方に基づき、施設の老朽度や重要度を考慮した改築・更新時期の前倒しや予防保全の実施による長寿命化等により事業費の抑制や平準化を図ることで、施設の健全性と経営の持続性の両者を確保し、将来にわたって安定的に上下水道サービスを提供し続ける。

## (2) 各施設の取り組み

区 分	内 容
基幹施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽度の高いものから改築・更新</li> <li>・機能停止すると影響が大きい施設等の優先的な改築・更新</li> <li>・改築・更新にあわせた強靱化等の機能向上</li> <li>・定期的な点検・調査に基づく修繕による長寿命化</li> </ul>
管路施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽度の高いものから改築・更新</li> <li>・災害発生時を想定し、優先度の高い管路を耐震化</li> <li>・定期的な点検・調査に基づく修繕による下水管の長寿命化</li> </ul>

## 2 温室効果ガスの排出削減について

(単位 t - CO<sub>2</sub>/年)

区 分	年間削減量
空見スラッジリサイクルセンター 第 2 期 焼 却 施 設 の 整 備	2, 0 3 7
柴田汚泥処理場汚泥焼却施設の改築	3 1 5
L E D 照 明 の 導 入	1 3 6
省エネルギー機器の導入等	6
計	2, 4 9 4

(注1) 令和8年度完了予定の取り組みを記載

(注2) 年間削減量は、「名古屋市上下水道局環境計画2030」に基づき算出

3 事業用定期借地による長期貸付の収入額について

(単位 千円)

区 分	7年度予算	8年度予定
水道事業会計	276,054	277,662
下水道事業会計	89,933	94,925
計	365,987	372,587

## 4 新実技研修施設について

### (1) 整備の必要性

- ・既存施設（技術教育センター及び山崎実習所）の老朽化対応
- ・水処理センター整備に伴う山崎実習所の移転の必要性
- ・新たな研修ニーズに対応した研修設備の必要性

### (2) 既存施設及び新実技研修施設の概要

#### ア 技術教育センター

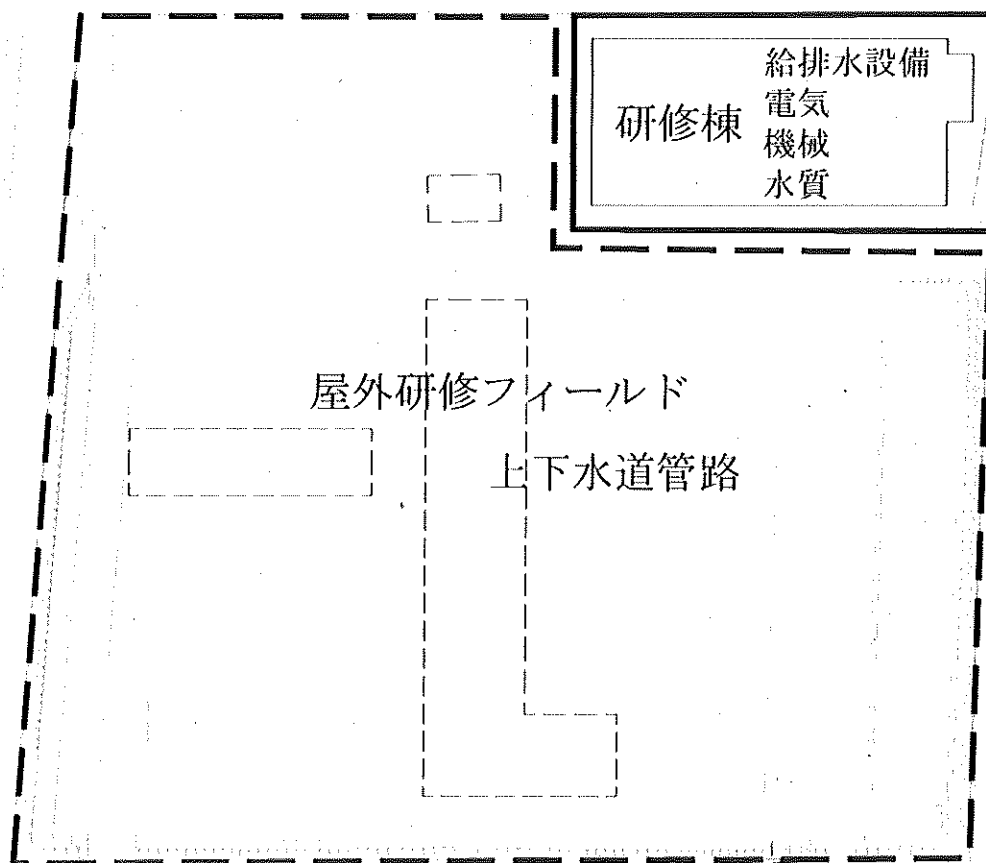
区 分	内 容
所在地	港区いろは町
運用開始	昭和59年
研修内容	給排水設備及び上下水道管路に関する研修
施設構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋外研修フィールド（敷地面積13,367m<sup>2</sup>）</li> <li>・事務所棟（延床面積788m<sup>2</sup>）</li> </ul>

#### イ 山崎実習所

区 分	内 容
所在地	南区忠次一丁目
運用開始	平成2年
研修内容	電気、機械及び水質に関する研修
施設構成	研修棟（延床面積2,290m <sup>2</sup> ）

ウ 新実技研修施設の概要

区 分	内 容
所在地	港区いろは町
研修内容	給排水設備、上下水道管路、電気、機械及び水質に関する研修
施設構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋外研修フィールド（敷地面積13,367m<sup>2</sup>）</li> <li>・研修棟（延床面積2,736m<sup>2</sup>）</li> </ul>



(3) 新実技研修施設の今後の活用

- ・研修内容の充実による技術力の維持向上
- ・上下水道インフラを構成する主要技術を横断的に学ぶ研修の実施
- ・公益社団法人日本水道協会等と連携した他事業体向け研修内容の充実

